

THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1st January and 9th November 2014)

前回ランキング発表以降の1ヶ月間に世界各国で印象に残るパフォーマンスが数多く見られた。アスコット競馬場でのブリティッシュチャンピオンズデーからは新たに2頭が120ポンド以上の評価を得て、今回発表のロンジンワールドベストレースホースランキングに加わることとなった。またサンタアニタ競馬場でのブリーダーズカップ開催からは新たに3頭が加わり、激戦が繰り広げられたオーストラリアからは4頭が新たに加わる事となった。

LONGINES World's Best Racehorse Rankings			
Leading Horses			
Rank	Horse	Rating	Trained
1	JUST A WAY (JPN)	130	JPN
2	AUSTRALIA (GB)	126	IRE
2	KINGMAN (GB)	126	GB
2	THE GREY GATSBY (IRE)	126	GB
2	VARIETY CLUB (SAF)	126	UAE
6	BAYERN (USA)	125	USA
6	SEA THE MOON (GER)	125	GER
6	TREVE (FR)	125	FR
9	CALIFORNIA CHROME (USA)	124	USA
9	FLINTSHIRE (GB)	124	FR
9	GAME ON DUDE (USA)	124	USA
9	GOLD SHIP (JPN)	124	JPN
9	TAGHROODA (GB)	124	GB
9	THE FUGUE (GB)	124	GB
9	TOAST OF NEW YORK (USA)	124	GB

最も目覚ましい活躍を見せたのは121ポンドの評価を得てすでにランクインしていた馬である。バイエルンはブリーダーズカップクラシック(G1)を僅差の逃げ切りで制し125ポンドの評価を得て、前回から順位を上げることとなった。

また、この競走でハナ差の2着に敗れたトーストオブニューヨーク【124】が初めてランキング入りを果たした。さらに2着からクビ差の3着に

敗れたカリフォルニアクローム【124】は、このレースにおいてもケンタッキーダービー及びプリークネス S と同等の評価を得ることとなった。

また同じ開催では、抜群の安定感を誇るメインシークエンス【122】が 12 ハロンのブリーダーズカップターフ(G1)を制し、芝の L コラムの G1 競走で今年の 4 勝目を上げた。

南半球で際立った活躍を見せたのがテラビスタ【123】である。キャプテンリオ産駒の同馬はダーレークラシック(G1)においてシャトークア【122】を僅差降し、現時点でスプリント部門のトップタイに立った。

香港では、ミリタリーアタック【123】が 2 月の香港ゴールドカップ(香港 G1、2000 メートル)に続いて、マイル戦のシャティントロフィー(香港 G2)も制し、距離の融通性の高さを示した。

ブリティッシュチャンピオンズデーで目を引く活躍をみせたのが英チャンピオン S で逃げ切り勝ちを収めたノーブルミッション【122】である。これにより同馬は欧州 3 カ国にまたがり今年 G1 3 勝目を上げることとなった。また、種牡馬から競走馬に復帰したアルカジーム【121】がこの競走の 2 着となった。

この 1 ヶ月で計 12 頭が今年初めて 120 ポンド以上の評価を得て、ランキングに加わることとなった。